

門扉錠NR-B3

取り付け説明書

このたびは、三協アルミの商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の取り付けには、この説明書をお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

取り付け上の注意

- 各部材の取り付けは説明書通り確実にこなしてください。
- ねじ止め箇所は指示してあるねじをすべて確実に止めてください。

梱包内容

■両開き用錠セット (NR-B3WH)

部 品 名	数 量
門扉錠(かんぬき、受け)	1セット
落とし受け	3
錠取り付けねじ皿M5×30	4

■片開き用錠セット (NR-B3SH)

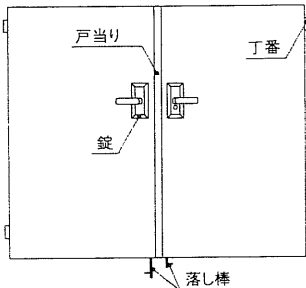
部 品 名	数 量
門扉錠(かんぬき)	1セット
落とし受け	1
片開き受け	1セット
錠取り付けねじ皿M5×30	2

取り付け手順

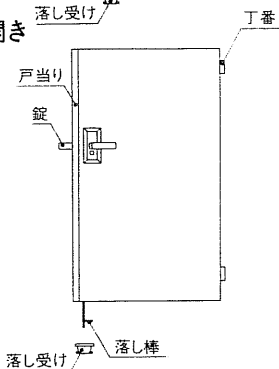
1 外観姿図

●両開き

門扉本体を2枚用意してください。

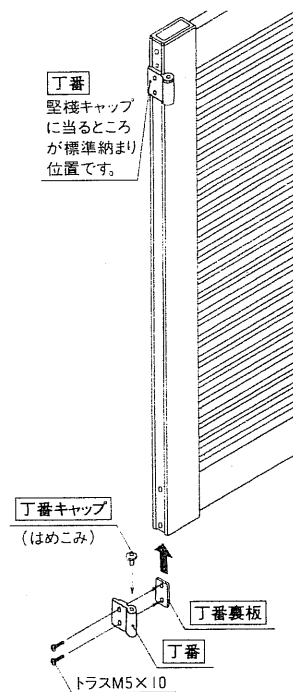


●片開き

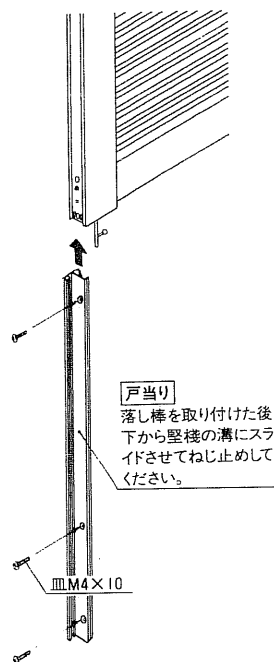


2 丁番・戸当り・落とし棒の取り付け

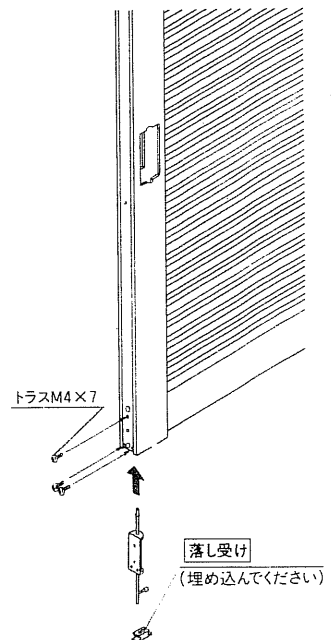
■丁番の取り付け



■戸当りの取り付け



■落とし棒の取り付け



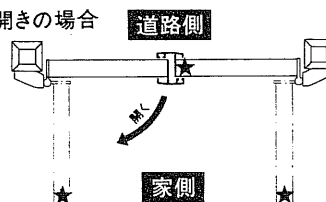
3 落とし受けの埋め込み

- 落とし受けは門扉の開き勝手に応じて右図の★の位置に埋め込んでください。片開きの場合は門扉を開いた位置に1個埋め込んでください。

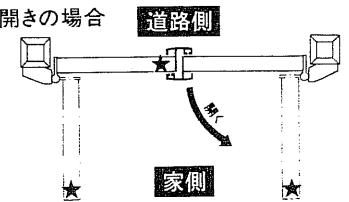
➡ 両開きの場合、右開き、左開きの区別があります。使い勝手に応じて右図のように戸当りを取り付けてください。

●両開き

●右開きの場合

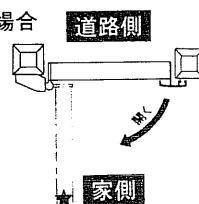


●左開きの場合

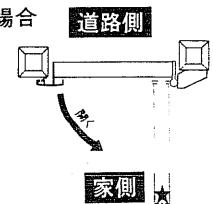


●片開き

●右開きの場合



●左開きの場合

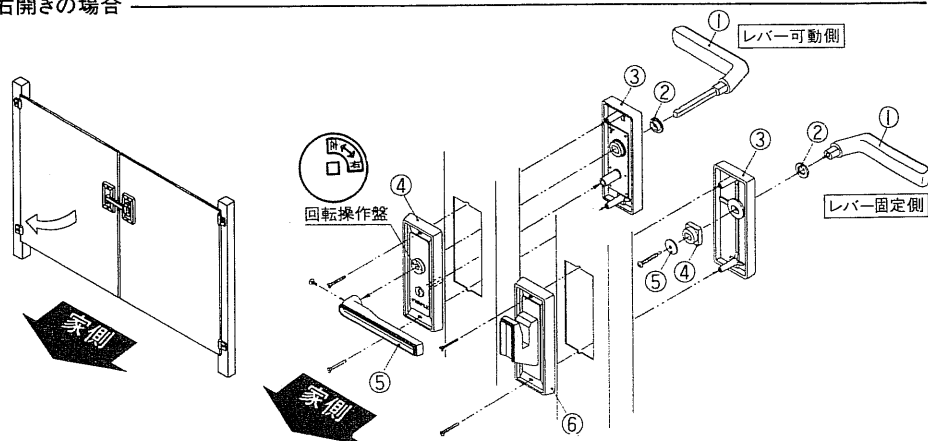


4 門扉錠の取り付け

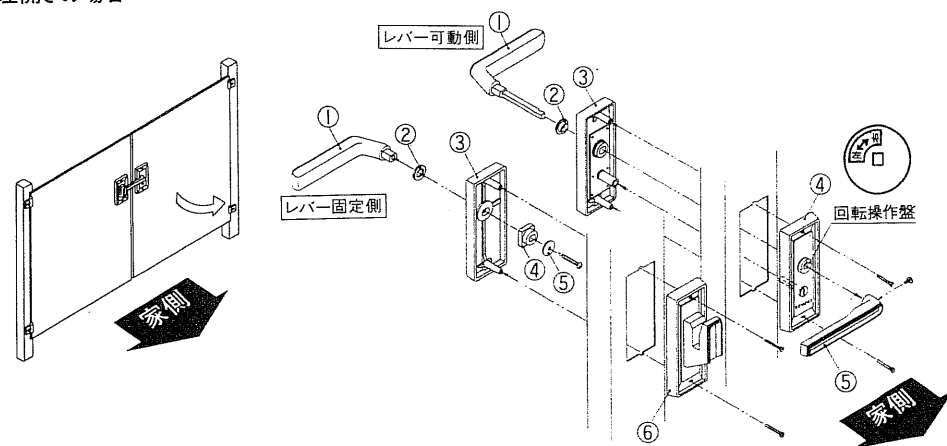
■レバー可動側

- まず③④を皿ねじで門扉に取り付けてください。その時カギ穴は表・裏とも(たて方向)に合わせてください。
- 回転操作盤の位置は右開き・左開きの場合により異なります。左図参照のうえセットしてください。
- ①の角芯を②③④に通してねじで⑤に取り付けてください。
- ①⑤の動きを確認してください。レバーを回しすぎないように90度でストップするようになっています。

●右開きの場合



●左開きの場合

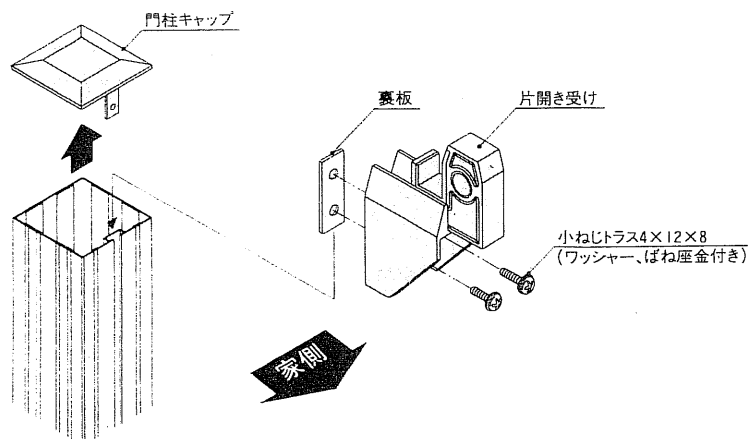


■レバー固定側

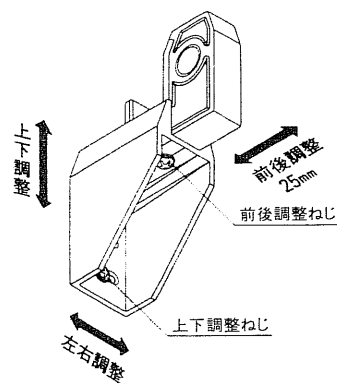
- 左右勝手に合わせてレバー①の向きを決め①②④⑤を③にねじ止めしてください。
- ③⑥を皿ねじで門扉に取り付けてください。

片開き用錠の取り付け手順は両開き用錠のレバー可動側と同じです。

5 片開き受けの取り付け



6 片開き受けの調整



工事店様へのお願い

この説明書はお手入れ方法を記載しておりますので、施工後、必ず施主様にお渡しください。

お客様へのお願い

●アルミ部材のお手入れ方法

どんなアルミ部材も自動車の排気ガス、煤煙の多いところ、海岸地帯のような塩分や砂の飛来の受けるところでは、日頃のお手入れが大切です。施工時の美しさを保つためにも、アルミ部材の表面を定期的にお手入れしてください。

(1)お手入れ方法

- ・ほこり、チリなどを除いた後、柔らかい布を用いて水洗いの後、から拭きしてください。

・汚れがひどい場合は、中性洗剤をぬるま湯で溶かして、スポンジ、柔らかい布を使って表面を洗ってください。次に、真水できれいに洗い流し、必ずから拭きしてください。〈酸性、アルカリ性の洗剤の使用は避けてください〉

- ・ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、ベンジン・灯油などで拭き取ってください。

(2)環境別によるお手入れ回数の目安

立地条件	清掃回数
臨海工業地帯	1年に1～2回
海岸・工業地帯	1年に1回
市街地	1～2年に1回
田園地帯	2年に1回